

エコライフにいみ

～ひろげよう環境にやさしい暮らし～

発行：新見市市民環境会議

発行責任者：吉良英紀

協力：新見市市民生活部生活環境課

2006年(平成18年)7月号 新見市市民環境会議会報第4号

ごみ分別日本一の町!!

3月30日、メンバー9人が徳島県上勝町で環境の取り組みを学びました。

上勝町は、徳島市から西へ車で約

1時間の四国山脈の急峻な山腹に集落が点在する、人口2千人余りの四国で一番小さな町です。高齢化率も40%を超えています。



そんな町が「ごみゼロ(ゼロウェイスト)宣言」の基に、全国一のごみの35分別を行って焼却や埋立ごみをゼロにする

取り組みを行っています。収集車は走っていません。町で一カ所だけあるステーションへ自ら持ち込んでいます。高齢者宅ではボランティアが運搬を代行するなど、住民が一丸となって環境を守る取り組みを進めています。住民の方に意外と負担感はなく、細かい品目分別によってかえって迷いが少ないそうです。

また、新見市と同じく山林が面積のほとんどを占めるなかで、小規模ながら、第三セクターの温泉宿「月の宿」の熱源として木質チップボイラーによるバイオマスエネルギーの利用を始めるなど、森の荒廃を何とか防ごうとする意気込みが感じられました。

その他、高齢者が中心となって料理の飾りに使う木の枝や草の葉など「つまもの」の産地としても有



名な町でした。なんと年間1千万円以上を稼ぐお年寄りもいるそうです。

とにかく、全国が注目する上勝町。日本の原風景を思い起こさせる里山に生きる人たちのやる気と活気を感じた視察でした。

フリーマーケットに参加!!

6月4日の日曜日、まなび広場にいみにおいて備北地区最大のフリーマーケットが開催されました。当日は、多くの人々が、中古(リユース)商品を中心としたフリーマーケットへ訪れ、環境に対する関心の高さが感じられました。私たち市民環境会議も一つのブースを設け、環境や自然保護についてアピールしました。

まず、初めて企画した丸太切り体験コーナーでは、多くのちびっ子たちがのこぎりで丸太を切りました。初めてのこぎりを持ち、おっかなびっくりでのこぎりをひいていた子どもたちも、しだいに慣れ、最後は額に汗を流しながら丸太を切りました。そして、切り落とした木に思い思いのデザインを書き込み、嬉しそうに持ち帰っていました。ふるさと新見の自然のよさを改めて感じてくれたのではないのでしょうか。

また、恒例の手作りハガキコーナーでは、古広告からピンク色や



黄緑色などさまざまな色の再生紙をつくり、身近なリサイクルを体験しました。何人もの順番待ちの子どもがでるほどの人気でした。

新エネルギーコーナーには、太陽光を利用した模型自動車を不思議そうに観察する子どもや興味津々で持ち上げて調べる子どもが集まりました。



ソーラークッキングでは、太陽光を集めた熱でゆで卵などを作りました。その出来栄えに関心を寄せる主婦の方々もいらっしゃいました。

市民環境会議では今後もこのように環境や自然の保護について様々な活動をしていきたいと考えていますので、気軽に参加をしていただければと思います。よろしくをお願いします。

『**森**が泣いている...』

この度、市民環境会議の一員として仲間入りして論議するうちに私が日頃直接に肌で感じている自然環境について話してみたいと思い筆を取りました。

私は、1940年生まれで戦前の事は良く知りませんが15歳頃の物心の付いた頃の里山は、下草は家畜の飼料や堆肥材料として利用され立木は、薪や炭として家庭での燃料に使っていた為に山林を大切に管理していました。しかし、いつの頃となく家庭の燃料がプロパンや石油に取って変わったために、それまで大切に管理していた山林は、目的を変えて建築用材としての杉や桧を育てる人口植林となり広葉樹、自然林は大変に少なくなりました。しかも最近は、生活様式、建築様式の変化などの他に外材輸入が自由化され伐採適期になった杉、桧も市場価格破壊されて、伐採搬出等の諸経費を差引くと状況によっては損をする時代となりました。そのため、一步山林に踏み込んでみると間伐や枝打ち等の手入れがされず太陽光が樹木に遮られて下草が生えず大雨などで土砂災害が起っています。

一昨年台風23号による山林立木の被害は皆様もご承知の通り想像を絶する大きなものでした。これは、山林が所有者にとって収益を得る物体でなくなったために管理放棄した事に大きく関係した物と思われます。そこで、私は考え方を少し違った角度から国民皆様方に見て頂きたいと思えます。それは、立木が建築用材やパルプ原料といった目的よりは、災害防止、水源かん養、二酸

化炭素を吸収し温暖化防止、環境保全といった公益機能を持つことに目を向けて下さい。森林は、私達が生きて行く上で重要な空気と水を浄化する一番大切な役目をしています。

そこで、提案ですがこれら重要な役割をする森林の管理を所有者以外の都会に住んでいる方々の協力を得て行ってはどうでしょうか。

きれいな空気きれいな水、緑豊かな自然を後世に伝えるには、行政を始め関係者が地域を挙げて守る努力をするだけでなく、間伐や手入れに継続的にかかわる人達の確保が必要です。そのためにも、都会で暮らす若者や大量に退職を迎える団塊の世代の人達に参加を呼掛けて大切な森林を守る事が出来たらと願う一人であります。(畑 裕)

新見の森の魅力を発見しよう

～初心者からの森ウォッチングとクラフト～

・日時 7月23日(日) 9:00～12:30

・参加費 大人500円 子ども200円

・服装など 長袖、長ズボン、帽子、
軽登山靴か長靴、水筒、雨具

・申込 7/20(木)までに電話か葉書で
718-0303 新見市哲多町本郷1047

大橋 日出男

TEL 96-3770

メンバー募集

一緒に新見の自然や環境に

ついて考えてみませんか！

市民環境会議のメンバーを

募集しています。

連絡先 吉良 英紀 72-0061

(夜6:00～8:00に電話してください。)

～編集後記～

みなさん、こんにちは！！久しぶりの「エコライフにいみ」です。

新メンバーが加わり、市民環境会議の活動も新しい取り組みが始まりました。『ひろげよう環境にやさしい暮らし』のキャッチフレーズのとおり、私たちの活動が人から人へ広がることを願っています。